

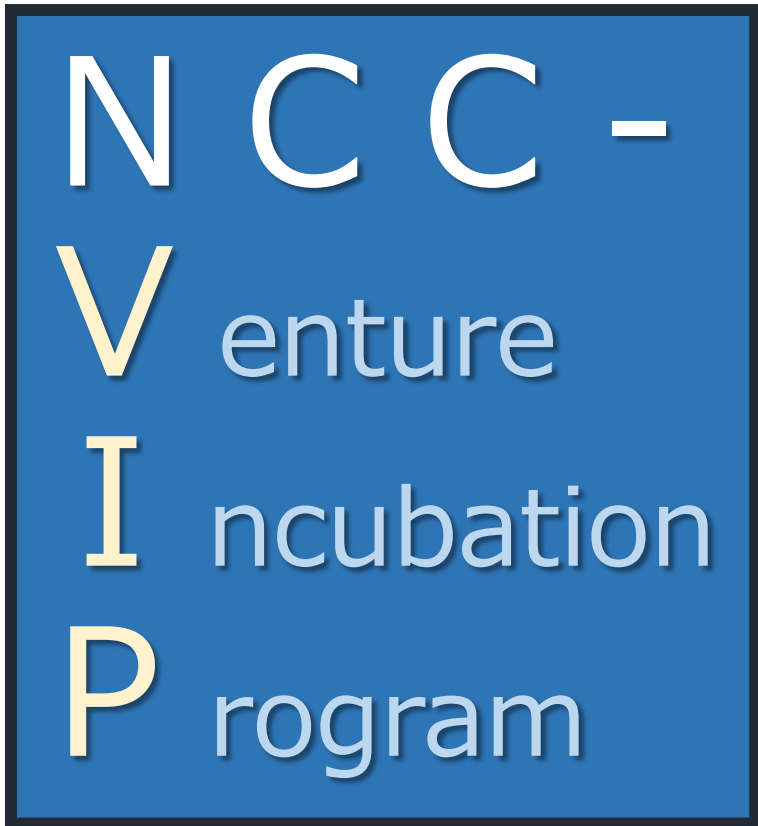
# NCC VIP 第I期 成果報告会

## 第I期の振り返り

国立がん研究センター東病院

佐藤 暁洋





## 目的 対象

---

NCCが保有する研究資源、支援機能をスタートアップ企業に提供し、革新的医療技術の実用化を促進する

---

NCCの支援機能に加え、VCの持つ経営支援機能を補完的に組み合わせることで、がんの革新的医療技術の実用化を目指すスタートアップの成功確率を上げる。

---

対象はNCC内部・外部を問わず応募が可能

---

がんの治療開発に関係すれば、医薬・医療機器・メドテックまで広く対象とする

---

# NCC Venture Incubation Programのイメージ



ベンチャーキャピタル

ファンディング機能

インキュベーション機能

- ・経営支援・メンタリング
- ・ネットワーク支援
- ・経営人材紹介

創業期

- 事業計画
- ・市場調査
  - ・経営チーム
  - ・開発戦略

薬価コンサル  
(厚労省薬価算定経験者)

知財・契約  
倫理コンサル

シード

- 医薬品・医療機器
  - ・基礎研究 (POC)
  - ・技術開発
- 非医薬品・医療機器
  - ・技術開発
  - ・プロトタイプリリース (POC検証)

研究開発環境

- ・病院 (ゲノム・組織・医療情報)
- ・EPOC (基礎研究)
- ・NEXT (医療機器)

アーリー

- 医薬品・医療機器
  - ・製造 (GMP)
  - ・毒性 (GLP)
  - ・早期臨床 (GCP)
- 非医薬品・医療機器
  - ・プロダクトリリース
  - ・プロダクト検証

薬事コンサル  
(PMDA審査官経験者)

エクспан  
ジョン

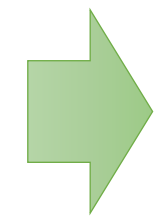
- 医薬品・医療機器
  - ・後期臨床 (GCP)
  - ・製造販売承認
- 非医薬品・医療機器
  - ・PMFの確認
  - ・マネタイズ検証

KOL (臨床医)  
(開発戦略コンサル)  
(マーケティング)  
(臨床開発のリード)



NCCHEは医薬品・医療機器開発のすべてのステージでベンチャー企業を支援可能な機能を保有している。

レイター



IPO or M&A

製薬企業  
アライアンス  
(M&A マッチング)

臨床研究支援部門  
(医師主導治験の実施)

提供価値：ベンチャーキャピタルとNCCが協働することで、バイオベンチャーの成功確率を上げる！！

# 育成プログラムのイメージ



リードVC (1-数社)

UTEC+三井不動産がプログラムに参加

リードVC+協賛VC (複数) + 企業

- ・ 経営支援/メンタリング
- ・ アントレプレナーシップ教育

・ 出資

- ・ 出資はVCが独自に判断
- ・ プログラム参加VC以外からも資金調達可能

・ 出資、買収

- ・ ピッチイベントでは広く交渉の機会を提供

ベンチャー企業の募集/紹介

## 選定イベント

- ・ 育成対象ベンチャーを選定 (NCCHE,VC共同)
- ・ 選定時点ではVCからの投資は確約しない
- ・ 5-10社/年程度を選定

## 育成対象ベンチャー

- ・ NCCとVCが共同で進捗管理・支援
- ・ VCの判断で随時投資を行う (1-2社)
- ・ 教育プログラム
- ・ レンタルオフィス (レジデントタイプ) を利用可能

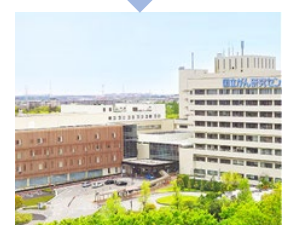
## ピッチイベント (マッチング)

- ・ プログラム開始後半年~1年で実施
- ・ 他のVCからの資金調達
- ・ 製薬・医療機器など企業とのマッチング

アライアンス契約



2020期といった年間単位での育成プログラムとして策定



 国立がん研究センター  
東病院  
National Cancer Center Hospital East

- ・ 各種コンサル提供
- ・ がん領域の教育プログラム (既存を活用)
- ・ NCCHEベンチャー育成対象に採択

# 支援内容

## コンサルテーション

- **薬価**

- 内容：製品の保険適応と薬価戦略に関するコンサル

- **薬事**

- 内容：製造販売承認に向けての薬事戦略に関するコンサル

- **開発戦略**

- 内容：臨床的有用性、適応疾患、開発戦略の相談

- **その他（知財、倫理など）**

- 知財戦略・研究倫理についてもNCC内でコンサル可能

## 教育プログラム

- **臨床研究セミナー**

- 内容：がんに関する知識、薬事規制、臨床試験の方法論

- **医療機器関連セミナー（NEXTセミナー）**

- 内容：医療機器開発、薬事規制など

- **UTEC提供プログラム**

- 内容：資本政策、VCからの調達などスタートアップ業務関連

## 佐藤 暁洋

(Akihiro Sato)

臨床研究支援部門  
部門長



- 山形大学医学部卒、同博士（医学）、グロービス経営大学院 経営学修士（専門職）、医師、製薬医学認定医
- 初期研修（東京医療センター）後期研修（山大第3内科）後、JCOG（国がん中央）にて多施設共同臨床試験支援、国がん東にて早期臨床開発研究の支援部門の立ち上げを実施
- 医師主導治験を中心に、医薬品・医療機器開発支援・コンサルテーションを多数実施
- 厚生労働科学審議会 臨床研究部会 委員

## 合川 勝二

(Katsuji Aikawa)

シーズ開発支援室  
室長



- 京都大学理学部卒、筑波大学大学院博士課程卒（生物学）
- 武田薬品工業にて、創薬研究に18年間従事、医薬品開発プロセスを一通り経験。プロジェクトマネージャーとして、産学連携業務に携わり、AMEDの産官学共同プロジェクト（GAPFREE2）を、NCCと企業三社（第一三共、アステラス、武田薬品）で推進。
- NCCでは、シーズ育成プログラムの事務局を務め、NCC発のシーズ探索、育成、企業とのマッチングサポートに従事。

## 竹下 修由

(Nobuyoshi  
Takeshita)

機器開発推進室  
室長



- 千葉大学医学部卒、同博士（医学）、同客員准教授、日本消化器外科学会指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、同医工連携委員
- National University of Singapore 留学時に、大学発内視鏡手術ロボットベンチャーとの産学連携を経験
- 帰国後、Japan Biodesign 東京大学フェローを修了し、その後（株）Alivas、（株）Jmeesを創業
- NCCではAMEDの手術動画DB構築/AI手術支援PJ/次世代医療機器連携拠点整備等事業の事務局を始め、臨床現場からの革新的医療機器創出や事業化、ベンチャーの育成・連携に従事

## 杵淵 裕美

(Yumi  
Kinebuchi)

手術機器開発室  
プロジェクトマネージャー



- 青山学院大学法学部法学科卒、グロービス経営大学院 経営学修士（専門職）
- 外資系企業やベンチャー企業を経験後、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社にて10年間、企業の海外進出や海外事業の立ち上げ、医療機器の海外展開等に従事。
- その後、大手自動車メーカー経営戦略室にてCVCを経験
- NCCではAMED事業でAIを使った手術機器開発のプロジェクトマネジメントに従事。

主に医薬品・診断薬などを担当予定

主に医療機器・MedTecなどを担当予定

# UTECH Investment Professional

宇佐美 篤

Atsushi Usami

取締役 パートナー



- ライフサイエンス分野を中心とするシード/ アーリーステージ投資を担当。

現在、投資先のRepertoire Genesis(株)、五稜化薬(株)、エディットフォース(株)、(株)ミルテル、(株)Epigeneron、BUGWORKS RESEARCH, INC.、bitBiome(株)、オリシロジェノミクス(株)の社外取締役等を兼任。

JST START事業プロモーター、NEDO TCPメンターでの事業化支援や、東京大学ライフイノベーション・リーディング大学院コロキウムでの産学連携教育セミナーの講師(一社)ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)のサポーター等を行う。

UTECH参画以前には、株式会社三菱総合研究所にて、ライフサイエンス及び他分野製造業メーカーに対する新規事業戦略立案、経営計画策定支援等の業務に従事。

小林 宏彰

Hiroaki Kobayashi

プリンシパル



- 2019年8月よりUTECH参画。主にヘルスケア・ライフサイエンス領域の投資先のビジネスのサポートを担当。

医療機器業界では、スタートアップ、大手メーカーにおいて、国内外での製造や販売等に関するアライアンス構築、アカデミアとの連携、KOLマネジメント、製品市場導入戦略など多様な業務を経験。

救急集中治療医としては、都心の大学病院や医療過疎地域の救命センター等で、軽症から最重症まで幅広い疾患分野をカバーする臨床業務、及び、研修医・医学生指導に従事。

## 3月12日 スタートアップシンポ（公募開始）

国立がん研究センター  
National Cancer Center Japan

UTEC LINK-J

National Cancer Center Venture Incubation Program  
AROxVCで創る新たなエコシステム

3/12 金 13:00 - 16:30

イベントは終了です  
National Cancer Center Venture Incubation Program スタートアップシンポジウム AROxVCで創る新たなエコシステム

【概要】  
国立がん研究センター-東病院は、「臨床研究中核病院」「ゲノム医療中核拠点病院」にも指定され、Academic Research Organization (ARO) として、がん医薬品・医療機器の早期臨床開発と付随するリバーSTR研究基金を構築してきました。また、近年は大規模ゲノムスクリーニングネットワーク (SCRUM-Japan) を始めとして、医療機器開発、リアルワールドデータ、病理・手術・内視鏡画像データプラットフォームなど、様々な研究開発基盤の整備にも力を入れています。

この度、国内有数のVenture Capital (VC) である東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTEC) の協力を得て、AROの研究開発支援機能と、VCの経営支援機能を組み合わせ、医薬品・医療機器のみではなくMedTecも対象とし、pre ~ early stage中心にがん関連領域のスタートアップを支援する1年間のプログラムを立ち上げます。説明会以降に、参加するベンチャー企業（起業予定者を含む）を国立がん研究センターの内外を問わず公募する予定です。

第1部は国立がん研究センター-東病院と東京大学エッジキャピタルパートナーズのご紹介に加え、当院と共同開発経験のあるスタートアップ経営者の方にもご登壇頂く予定です。また第2部は、応募に向けた具体的な説明会となります。

【開催日時】 2021年3月12日（金） 13:00-16:30

【プログラム】

| 時間                | プログラム   |
|-------------------|---|
| 13:00-13:10       | 開会の挨拶<br>大学長 国立がん研究センター-東病院 病院長   |
| 【第1部】 13:10-13:20 | 1 NCC Venture Incubation Programの概要<br>院長 教授 国立がん研究センター-東病院 臨床研究支援部門 部門長            |
| 13:20-            | 2 UTECの紹介とその事業化支援内容<br>副会長 教授 UTEC代表取締役社長/マネージングパートナー、日本ベンチャーキャピタル協会常務理事            |
| 13:45-            | 3 国立がん研究センター-東病院における開発の現状<br>大学長 教授 国立がん研究センター-東病院 研究開発部長 / 病院長 科長                  |
| 14:10-            | 4 医療ITプラットフォームを用いて開発された治療法の実用化と国立がん研究センター-東病院<br>副会長 教授 国立がん研究センター-東病院 臨床研究支援部門 部門長 |

2021/03/12 (金)  
13:00 - 16:30 JST  
📅 カレンダーに追加

会場 オンライン

チケット  
LINK-J会員 無料  
LINK-J非会員 有料  
LINK-Jサポーター 無料

主催者  
ライフサイエンスイベント  
フォロワー数: 8,817

LINK-J

グループをフォロー

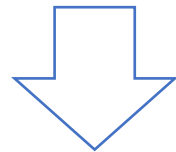
## 5-6月 書面→対面での選定

### 応募 12チーム

(内訳)

医薬品 4チーム  
再生医療 3チーム  
医療機器 2チーム  
ITその他 3チーム

\*8チームがAMED/NEDO獲得済み



### 書類選考 上位 8チーム ヒアリング

## 6月末～ 6チームに対して支援開始

### 国立がん研究センターと株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ ベンチャー支援プログラム「NCC Venture Incubation Program」2021年度支援チームを決定

2021年7月1日

国立研究開発法人国立がん研究センターと東京大学エッジキャピタルパートナーズは、革新的な医療技術の実用化を目指すベンチャー企業を支援するプログラム「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program (エヌシーシーベンチャーインキュベーションプログラム)」を2021年4月より開始しました。この度、2021年度支援チームが決定しましたのでお知らせいたします。

応募総数12チーム（医薬品4、再生医療3、医療機器2、ITその他3）から書類選考にて上位8チームがヒアリングに進み、ヒアリングの結果以下の6チームが採択されました。

| チーム名                            | 課題名   | 紹介スライド                     |
|---------------------------------|---|----------------------------|
| セレイドセラピューティクス株式会社               | ヒト造血幹細胞増幅技術を用いた再生医療等製品の開発   | <a href="#">PDF(556KB)</a> |
| サイアス株式会社                        | 抗原X-CAR発現手術不能進行・腹膜播種卵巣明細胞腺癌を対象としたヒト同種iPS細胞由来抗原X-CAR再生自然キラーリンパ球 (iCAR-ILC-N101) の安全性、忍容性、薬物動態、有効性を検証する臨床試験の実施とその成果の事業化 | -                          |
| STAND Therapeutics株式会社          | 細胞内抗体STAND技術を用いた難治性がん治療薬の開発   | <a href="#">PDF(1.3MB)</a> |
| 株式会社PURMX Therapeutics          | 小分子RNAを用いた核酸医薬の開発   | <a href="#">PDF(6.4MB)</a> |
| 国立がん研究センター東京理科大学連携 超人医療プロジェクト   | 組織深部の可視化による画像手術支援を目的とした腹腔鏡用近赤外ハイパースペクトラルイメージングデバイスの事業化  | <a href="#">PDF(4.4MB)</a> |
| 株式会社Surg storage/国立がん研究センター-東病院 | 外科領域の手術動画情報基盤データベース「S-access Database(DB)」の産業利用拡大に向けた事業展開   | <a href="#">PDF(669KB)</a> |



## NCC Venture Incubation Program 中間報告会

### ～ARO×VCで創る新たなエコシステム～

国立がん研究センター東病院と、国内有数のVenture Capital (VC) パートナーズ (UTECH) によるがん関連領域のスタートアッププログラム：NCC Venture Incubation Programを立ち上げ現在、革新的な開発を行っている6チームの支援を開始しています（支援チームの概要）

今回、NCC Venture Incubation Programの全体進捗、各参加チームの進捗、最後にパネルディスカッションでAROとVCのコラボによるスタートアップについてディスカッションをする予定です。

来年度に本プログラムにご応募を検討いただいている方はもちろん、ある、アカデミアと共同研究をしてみたいなど、少しでも興味を持たれたらぜひ登録をお願いします。

**NCC Venture Incubation Program 中間報告会**  
～ARO×VCで創る新たなエコシステム～  
10/26(水) 13:30-15:30 (13:15 入場開始) 参加費無料

**Program**

- 13:30-13:40 ご挨拶  
国立がん研究センター東病院 院長 大津 敦
- 13:40-13:55 事業進捗のご報告  
国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 部門長/学術企業支援部 部長 佐藤 孝洋
- 13:55-14:55 参加ベンチャープレゼン  
0 ヒトのカラダで作られる小分子RNAを用いた核酸医薬の開発  
株式会社PMM Therapeutics 代表取締役社長 田原 崇徳
- 0 細胞内伝達STAND技術を用いた薬治性がん治療の開発  
STAND Therapeutics株式会社 Founder & CEO 嶋山 博之
- 0 ヒト由来の細胞由来CAR陽性自然キラー細胞の遺伝子組換え試験  
サイラス株式会社 代表取締役 五ノ野 良輔
- 0 造血幹細胞移植技術を用いた再生医療等製品の開発  
セライドバイオテック株式会社 代表取締役社長 荒川 信行
- 0 外科領域の新たな価値創出を目指す手術動画データベース(S-access)  
株式会社Surj storage 代表取締役CEO 平塚 浩志

主催：国立がん研究センター東病院 共催：東京大学エッジキャピタルパートナーズ

## BNVの参画

### ベンチャー支援プログラム「NCC Venture Incubation Program」にBeyond Next Ventures が新規参画 日本初の革新的医療技術の実用化に向けて更に加速

国立研究開発法人  
Beyond Next

#### 発表のポイント

- 「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program」にBeyond Next Ventures 株式会社 (BNV) がベンチャーキャピタル\*1として新規参画
- NCC Venture Incubation Programは、2021年6月より開始した革新化を目指すベンチャー企業を支援するプログラムで、既に株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTECH) が参加しています。
- アクセラレーションプログラム\*2の運営経験が豊富なBNVが加入することで、チーム数の増加と支援プログラムの充実が期待されます。さらにBNVがそれぞれの強みを活かして医療系ベンチャーを体系的に支援すること

#### 概要

国立研究開発法人国立がん研究センター（理事長：中釜 斉、東京都中央区、センター）と、Beyond Next Ventures 株式会社（代表取締役：伊藤 毅、下BNV）は、革新的な医療技術の実用化を目指すベンチャー企業を支援する「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program (エッジインキュベーションプログラム)」に参加する覚書を11月1日に締結しました。既に株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTECH) がベンチャーキャピタル (VC) として参加しており、本覚書締結によりUTECH、BNVという日本を代表するVC2社が参加する体制となります。

国立がん研究センター東病院（病院長：大津 敦、千葉県柏市）は、日本国のスタートアップ・事業化支援を通じた革新的医療技術の実用化の促進を実施しています。主に国立がん研究センター東病院が研究面を、UTECH、BNVがベンチャーキャピタルが経営・資金面を支援します。

BNVは、多くの革新的な技術を持つ医療・ヘルスケア領域のスタートアップに創業初期からのハンズオン支援を行ってまいりました。また、2016年から運

## JETROとの包括連携 (海外展開の支援)

### ジェトロと国立がん研究センター、包括的連携推進協定を締結 ～ヘルスケア、ライフサイエンス分野での国際産学連携、スタートアップ海外展開等につき連携し、国内外でのイノベーション創出、健康課題解決に貢献～

2021年10月13日  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
国立がん研究センター（NCC）

独立行政法人日本貿易振興機構（理事長 佐々木 伸彦：以下「ジェトロ」）と国立研究開発法人国立がん研究センター（理事長 中釜 斉：以下「NCC」）は、この度、国際産学連携、スタートアップの海外展開等を通じたイノベーションの共創を柱にした包括的連携推進協定を新たに締結することを下記のとおりお知らせ致します。



(写真左) 左から：NCC 理事長 中釜 斉、ジェトロ 理事長 佐々木 伸彦  
(写真右) 左から：NCC東病院長 大津 敦、両理事長、ジェトロ 理事 小野村 拓志



#### 1. 本協定の背景・目的

本協定は、NCCとジェトロが、ヘルスケア分野、ライフサイエンス分野で相互に連携し、学術研究や人材育成、産学連携等での国際的な展開を推進することで、日本国及び地域の発展と国内外の健康課題解決に寄与することを目的としています。

#### 2. 本協定の内容

## 中間報告会 (AEA 2021と連携して開催)

# 参加チームへの支援実績

| ( ) 打合総数 | 事務局（進捗管理など） | 経営（VC）メンタリング | 臨床/非臨床KOLコンサルティンク | 薬事コンサルティンク | 外部アドバイザー（知財/戦略など） | 外部企業/組織とのマッチング | その他 |
|----------|-------------|--------------|-------------------|------------|-------------------|----------------|-----|
| チームA（15） | 2           | 9            | 3                 | *          | 1                 | 1              | 3 # |
| チームB（10） | 2           | 5            | *                 | *          | 2                 | 1              | 1   |
| チームC（9）  | 2           | *            | 1                 | 4          |                   | 1              | 0   |
| チームD（11） | 2           | *            | 3                 | *          | 1                 | 1              | 0   |
| チームE（7）  | 2           | *            | 4                 | 1          |                   | 1              | 0   |
| チームF（10） | 2           | *            | 3                 | 1          | 2                 | 2              | 0   |
| 合計       | 12          | 14           | 14                | 6          | 4                 | 2              | 4   |

- \*：VCが元々支援している場合は、VCが単独でメンタリングを実施、NCC内部シーズの場合はプログラム外で実施  
 #：ビジネスモデルキャンパスを用いた事業戦略検討/ピッチ練習など

## ○サマリー

- ・9か月（6月後半～3月後半）で62回の面談を実施（1.15回/月/チーム）
- ・臨床/非臨床KOLコンサルティンクがほぼ全チームを通じて実施された  
 例) 開発ターゲットとする疾患領域・ステージは適切か？ 出口戦略は適切か？ どんな企業と組めばよいか？  
 最適な剤型・ベクターはどれか？ 非臨床POC確立の方法論、想定している臨床ニーズがずれていないか？
- ・次いでVCによる経営コンサル、薬事、外部アドバイザーによる知財コンサルなど  
 例) (VC)事業戦略の壁打ち、(薬事)PMDA相談の支援、規制当局との交渉支援、(外部)知財戦略
- ・共同研究先企業/外部アドバイザーとのマッチング、JETROとのマッチングなどNCC外へのリソースへのアクセスも支援。

# 各チームに提供された教育プログラム

## 疾患と臨床試験 (6)

- 6月29日 小児がん
- 7月13日 血液がん～CART療法 再生医療等製品
- 8月10日 ゲノム解析と治験 レポートの読み方
- 11月10日 再生医療に関する副作用対策
- 1月28日 胃がん
- 3月16日 大腸癌

## 臨床試験関連(11)

- 7月27日 がん臨床試験 安全性評価 (臨床検査値とCTCAE)
- 9月7日 ICFの作成のポイント なぜ? なにを?
- 9月16日 IC・適切な同意・オプトアウト
- 10月7日 COIについて
- 11月4日 倫理審査の要否とその判断基準
- 11月17日 個人情報保護改正に伴う倫理指針改定について
- 11月25日 GCP Advance研修
- 11月30日 WHYからはじめよう～QMS実装の為の本質的理解
- 12月14日 臨床試験での問題解決方法
- 1月14日 がん臨床研究と医療資源の配分
- 2月8日 CDMの業務をすれば世界が変わる

## 薬事・知財・その他規制など (6)

- 6月30日 知的財産の基礎
- 7月14日 医療機器の保険適用を通じて考える医療機器の価値
- 8月30日 プログラム医療機器に対する承認審査と臨床評価の考え方
- 9月1日 アカデミア研究における知的財産とAI技術に関する知的財産
- 1月12日 FHIR-ヘルスケアの未来を支えるデータ標準-
- 3月23日 再生医療等安全性確保法

## スタートアップ関連(4)

- 7月29日 スタートアップにおける資金調達概要
- 8月4日 医療機器ベンチャーに医師はどう関わるべきか
- 8月17日 事業化と資金調達のケーススタディ
- 9月30日 NEXT共催 シリコンバレーでサバイバルする日本人から見た今の日本に足りないもの

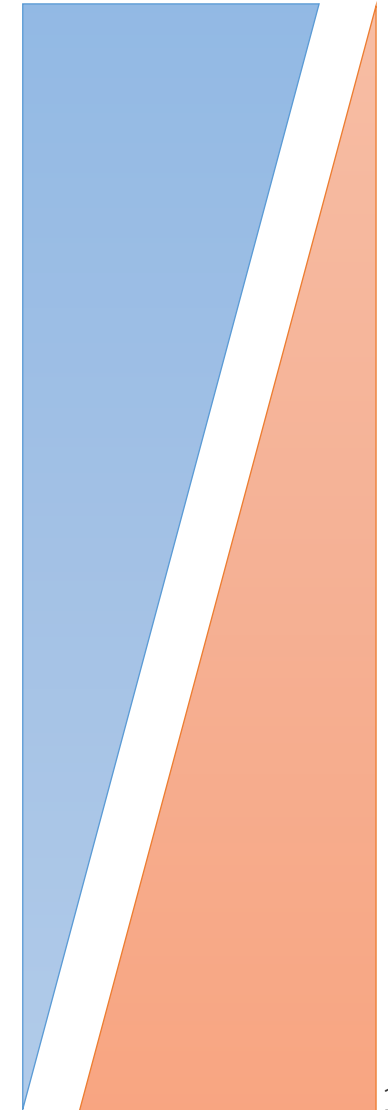
27プログラム/9か月 (3回/月) を提供

事業開発に役立つ薬事関連に加え、疾患知識についても高評価

# 参加チームへの進捗とNCC VIPによる支援内容

| 項目   | チームの達成実績   | NCC VIPの貢献   |
|------|--|--|
| 研究開発 | <ul style="list-style-type: none"> <li>6/6チームで進捗あり<br/>&lt;内訳&gt;<br/>臨床開発の進捗： 2チーム<br/>技術的課題の進捗： 4チーム<br/>技術開発方針決定： 1チーム</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>剤型/規格/製造コンサルテーション： 4/6チーム</li> <li>非臨床安全性コンサルテーション： 1/6チーム</li> <li>臨床開発戦略コンサルテーション： 5/6チーム</li> <li>薬事コンサルテーション： 3/6チーム</li> <li>外部KOLとのマッチング： 2/6チーム</li> </ul> |
| 事業開発 | <ul style="list-style-type: none"> <li>6/6チームで進捗あり<br/>&lt;内訳&gt;<br/>特許関連進捗： 1チーム<br/>Exitの進捗： 1チーム<br/>開発戦略の精緻化： 6チーム</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画策定支援： 2/6チーム</li> <li>特許/知財戦略コンサルテーション： 3/6チーム</li> <li>薬事戦略コンサルテーション： 3/6チーム</li> <li>共同開発先企業とのマッチング： 1/6チーム</li> <li>JETROとのマッチング： 6/6チーム</li> </ul>        |
| 組織   | <ul style="list-style-type: none"> <li>外部リソース確保： 3チーム</li> <li>自社リソース拡充： 1チーム</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育プログラムの提供： 6/6チーム</li> <li>外部CROの紹介： 1/6チーム</li> <li>人材紹介： 0/6チーム</li> </ul>   |
| 資金調達 | <ul style="list-style-type: none"> <li>新規資金調達の進捗： 3チーム</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>VCのKOLインタビュー支援： 1/6チーム</li> <li>公的資金獲得支援： 1/6チーム</li> <li>VCとのマッチング： 1/6チーム</li> </ul>  |

NCCとしての貢献度



VC/インキュベータ  
の貢献度

# 2022年に二つの連携施設が誕生します！

## シーズ近接型

プロジェクトラインナップ(3) (仮称)三井リンクラボ柏の葉



日本を代表する先端医療施設に近接する次世代医療技術・ヘルスケアサービス開発の中核拠点。国立がん研究センターと三井不動産及びH.U.グループホールディングスは、「がんのCure(治療)及びConquer(克服)」を目指し、(仮称)三井リンクラボ柏の葉を軸として、連携・協力します。





●住所/千葉県柏市柏6-6-1(他) ●建設時期/2021年度(予定)

※完成性はすべて図面情報に準じており、今後変更する可能性があります。完成後詳細は別途ご説明いたします。また、図面に記載のない事項は、本計画の範囲外とさせていただきます。

アクセス つばエクスプレス 「柏の葉キャンパス」駅 徒歩6分

### ポイント1 アcademia、研究施設、先端医療施設等の近接地における賃貸ラボ施設

|                |   |  |                            |
|----------------|---|--|----------------------------|
| 研究スタイルが<br>変わる | 1 シーズ近接ならではの研究開発環境<br>様々な医療に関する最先端の取り組みが行われるシーズ近接のラボ&オフィス。アカデミアや医療施設と近接している強みを活かし、世界に先駆けた研究開発が行われやすい環境を提供します。 | 2 次世代医療技術との連携<br>世界中からプレイヤー・情報・技術が集まるからこそ、最先端の情報にアクセスすることができます。最新の医療技術を踏まえた研究開発やサービス開発が行われやすい環境を提供します。 |                            |
| 連携・協力<br>内容    | "3C"を目指した研究・技術開発の<br>インキュベーション機能やインフラ整備   | アカデミア・民間企業に対する<br>コンサルテーションのワンストップ化  | 様々なアカデミア機関や民間企業との<br>連携の構築 |

### ポイント2 オープンイノベーションの創出

|   |  |
|---|--|
| イノベーションを生み出す空間の活用<br>活発なコミュニケーションやビジネスの活性化を実現するために、本ラボ施設にもコミュニケーションラウンジや会議室を整備。 | イノベーションを生み出すネットワークの活用<br>LINK-Jの活動(ネットワーキング、アクセラレーションプログラムの支援等)を本ラボ施設でも展開。 |
|---|--|

### ポイント3 充実した研究環境

BSL2®対応のウェットラボ仕様  
BSL2®対応のウェットラボ仕様で研究の幅が広がる。  
※一部対応しない区画がある場合があります。

共通実験機器室の整備  
整備された共通の実験機器室を利用することで、コストを削減できる。

研究開発の支援機関  
研究開発の支援機関が近接しているため、研究の効率化が可能となる。

共有のコミュニケーションスペース  
共有の会議室やコミュニケーションラウンジを活用することで、社内外の活発なコミュニケーションを促進する。

LINK-Lab



Coil Terrace  
(co-working space)

## 柏の葉で新たな診療モデル創出を目指し「(仮称)柏の葉ホテル計画」着工

～がんの「治療」と「研究」を支える病院連携宿泊施設を2022年夏に開業予定～

2020年12月22日  
in English

国立研究開発法人国立がん研究センターと三井不動産株式会社は、このたび(12月16日)、国立がん研究センター東病院(以下NCC東病院)の敷地内において、「(仮称)柏の葉ホテル計画」の新築工事を着工したことを、お知らせします。

本計画は、三井不動産がNCC東病院の土地の一部を賃借し、ホテル(計146室(予定))を建築します。竣工後は、株式会社三井不動産ホテルマネジメントが運営を行います。開業は、2022年夏を予定しています。



本計画は、つばエクスプレス線「柏の葉キャンパス駅」からバスで約6分の、NCC東病院の敷地内に位置します。国内有数のがん専門病院であるNCC東病院には、毎年国内外からのべ30万人弱のがん患者さんが来院しています。一定期間の通院が必要になる場合や遠隔地からの入院あるいは通院など、来訪者のニーズに応え利便性を向上させるため、NCC東病院の敷地内に病院と隣接する形で本施設の建築を決定しました。

(右)完成予想イメージ \*今後、変更となる場合がございます。

## NCC東病院と柏の葉スマートシティが連携し 世界に誇る“新たな病院と街のモデル”を創出

三井不動産とNCCが具体的なサービス・新たな診療モデルの創出や、患者さんへのサポート等導入による新

\*当件に関しては2021年12月22日現在、参考リリース:「国立がん研究センター東病

### 本計画の概要

|  |  |
|--|--|
| <p>宿泊施設コンセプト①</p> <p>国内外の患者さん・ご家族・研究者など<br/>中長期滞りも受け入れる<br/>病院連携宿泊施設</p> | <p>国立がん研究センター東病院<br/>NCC東病院 連携宿泊施設<br/>イノベーションフィールド柏の葉<br/>柏の葉キャンパス駅</p> |
| <p>宿泊施設コンセプト②</p> <p>5Gなどを導入し<br/>新たな診療モデル創出する<br/>実証フィールド</p>           |  |


ベンチャー向けサービスを提供予定

# 柏の葉のヘルスケアデータプラットフォーム

## 柏の葉データプラットフォーム

## 隣接ホテルでの遠隔治験実証実験

柏の葉データプラットフォーム(都市OS)におけるマイナンバーカード対応など  
ユーザビリティの向上

|   |  |                          |                   |
|---|--|--------------------------|-------------------|
| 実施地域  | 千葉県柏市(柏の葉キャンパス駅周辺)   | 実施主体                     | (一社)UDCKタウンマネジメント |
| 事業概要  | 柏の葉では、「公・民・学の連携」+「データの活用」により、様々なプロジェクトを分野横断で展開している。柏の葉データプラットフォーム(都市OS)の中核機能である分散型データ連携機能は実装済みであり、連携する都市OS機能や住民向けサービスを順次開発中である。これまでの取組を通じて既に複数の住民向けサービスを提供しており、当該サービスを普及させていくことが大きな課題の1つとなっている。そこで本提案では、都市OSを改修することで、様々なサービスの入り口の役割を担うポータルサービス(スマートライフパス)におけるユーザビリティの向上及び機能強化を図り、実効性の高いサービス普及促進策を展開し、スマートライフパス利用者数の増加を目指す。 |                          |                   |
| 取組内容  | (スマートライフパスの現在イメージ)   | 【ユーザビリティ向上】              | 【普及展開】            |
| <b>【スマートライフパス利用拡大に向けた取り組み】</b><br>スマートライフパスの機能改善や普及活動を行うため以下を提案する。<br>①スマートライフパスにおけるマイナンバーカードを活用した新たな本人確認機能の実装<br>②スマートライフパスにおけるUI/UX改善<br>③スマートライフパスの普及促進策の展開(広告宣伝活動等) |   | ①新たな本人確認機能実装<br>②UI/UX改善 | ③広告宣伝活動等の普及促進策の展開 |



国立がん研究センター東病院

三井ガーデンホテル柏の葉パークサイド

国立がん研究センター東病院と連携したサービス。

国立がん研究センター東病院での診療に合わせ、  
快適にホテルでご滞在いただけるよう、  
様々なサービスをご用意しております。



次回診療予約に合わせ、スムーズにホテルも予約可能



万が一の際には緊急時対応スタッフがサポート



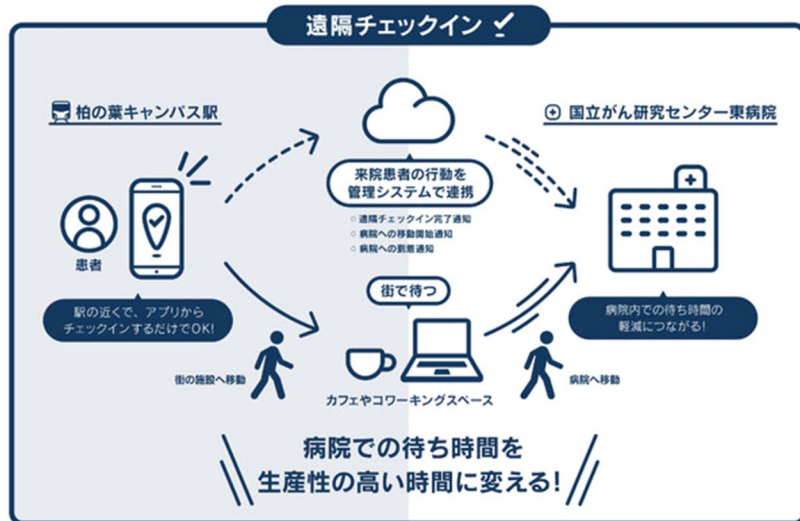
センサー機器により心拍数等のバイタルデータを確認可能

※本人ご同意にが必要です。

### 実施体制図



### システム構成図



遠隔チェックイン  
実証プロジェクト

# Grater Tokyo Biocommunity

## 5.川崎エリア

羽田空港直結のキングスカイフロントなど、研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション都市



## 6.横浜エリア

産学官金が連携し、健康・医療分野のイノベーションを持続的に創出するグローバル拠点都市



## 7.湘南エリア

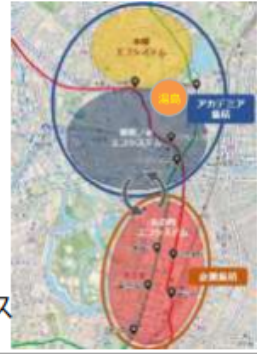
世界最大級のライフサイエンス研究施設を核に、隣接病院や周辺地域とも連携する、製薬企業発の産官学医オープンイノベーション拠点  
湘南ヘルスイノベーションパーク



## GTBバイオイノベーション推進拠点

### 3.本郷・お茶の水・東京駅エリア

東大、東京医歯大等、GTB域最大のアカデミア集積地



TIP開設プレスリリースより

### 4.日本橋エリア

バイオ・製薬産業が集まる国際的ライフサイエンスビジネス拠点と、研究・臨床・情報開発連携機能の集積



LINK-J HPより

### 1.つくばエリア

筑波大学および多様な国研および企業研究機関等の集積をいかした我が国最大の世界的サイエンスシティ

筑波研究学園都市  
パスナビより



### 2.柏の葉エリア

新産業創造、健康長寿、環境共生を軸とする国際イノベーションキャンパスタウン



柏の葉スマートシティ HPより

### 8.千葉・かずさエリア

最先端ゲノム研究等による植物・免疫医療等研究推進拠点



かずさDNA研究所

千葉大学



(注1)これら以外に、新宿・信濃町、早稲田、築地・台場、所沢、和光などにも萌芽がみられる

(注2)今後各拠点の発展に伴い、統合・再編成の可能性はある。



# 第1期の まとめ

## 自己評価

- ・技術開発、開発戦略等に関しては、NCC内外のKOLによって質の高いサポートが実施され、チームの進捗に貢献した。
- ・外部KOLや特定領域に高い技術を有する他企業とのマッチングを実施し、問題解決につながるとともに、NCCとしてもネットワーク構築につながった。
- ・人材、資金調達についても一定の貢献をしたが、NCC側の直接的な貢献には限度があった。
- ・経営支援/事業計画立案に関してはVC側が大きく貢献した。
- ・教育プログラムについては、疾患知識などのニーズが高かった。
- ・ハード面（レンタルスペース、シェアオフィス）のニーズは少なかった。

## 来年度に向けて

- ・VCが2社体制になり、経営支援/資金調達支援でより幅広い対応を可能にする
- ・JETROとの協力体制にて海外展開支援機能を強化
- ・隣接ラボ・ホテルを活用し、ラボスペース、デジタルヘルスのフィールド提供などハード面での支援も強化



# 第II期の公募開始！

「一人でも多くの患者さんに新しい治療を届けたい！」

「自分たちで世界の医療を変えたい！」など、

そんなチームのチャレンジをお待ちしています！

日本発の革新的な医療技術を世に出すため、よりパワーアップした支援プログラムをご用意してお待ちします！

## 国立がん研究センター「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program」第二期参加チームの公募について

募集期間：3月14日（月曜日）から4月5日（火曜日）正午まで

国立がん研究センター（NCC）と東京大学エッジキャピタルパートナーズ（UTECH）、Beyond Next Ventures 株式会社（BNV）は、革新的な医療技術の実用化を目指すベンチャー企業を支援するプログラム「National Cancer Center Venture Incubation Program（NCC VIP）」の第二期への参加チームの公募を3月より開始します。

2021年度から国立がん研究センター、UTECHが協働でNCC VIPを立ち上げ、6チームの支援を行ってきた本プログラムによって、各チームがクリアすべき、技術的・規制的な課題が大きく進捗しています。第二期となる2022年度からは、BNVが新たにパートナーとして加わり、UTECH、BNVという日本を代表する大手独立系ベンチャーキャピタル2社が参加する体制となります。加えて、日本貿易振興機構（JETRO）も連携する、さらにパワフルなプログラムになります。国立がん研究センターの内外を問わず、参加するベンチャー企業（起業予定者を含む）を公募します。

### 本プログラムの目的

1. NCCが保有する研究資源、支援機能をスタートアップ企業に提供し、NCC 発の革新的医療技術実用化を促進いたします。
2. UTECH、BNVと協力し、事業面での支援も行います。

### 本プログラムの対象

1. 医薬品、診断薬、予防、再生医療、医療機器、医療 IT まで広く対象といたします。
2. 原則として起業前、もしくはアーリーステージのスタートアップを対象といたします。
3. 応募時点で NCC と連携している必要はありません。